

伊賀の自然

第18回

武田恵世



サワギキョウ

『サワギキョウ』

9月になりますが、まだまだ残暑が厳しいですね。これは「サワギキョウ」と言って、沢や湿原に咲く希少植物です。キキョウに似たきれいな濃い紫色をしていて、水辺に咲くのでこう呼ばれています。キキョウは薬草ですが、こちらは毒草で、横溝正史の悪魔の手毬唄では「お庄屋殺し」と呼ばれています。しかし、実際には100 kg（丼で400杯くらい）以上食べないと致死量には達しないので、毒殺は…。

園芸種の宿根ロベリアはこの仲間です。ロベリアは和名を瑠璃蝶々と言い、サワギキョウにもふさわしい名前だと思います。

キキョウ科ミゾカクシ属で、茎は高さ50 cm～1 mになり、葉は小さく細長く細かなギザギザがあります。花は3 cmくらいの唇状で、上部は二裂して上向きに、下部は三裂して下向きに反り返っています。サギソウやトキソウが生えているような痩せた湿原には少なく、落ち葉などがたまって、やや肥えた湿原に生えているようです。

伊賀の山並み 大和富士

伊賀市のある場所から奈良県の大和富士が、富士山型にみえていたのでご紹介します。正式には額井岳（ぬかいだけ）と言って、近鉄榛原駅の手前にあります。近くからはあまり富士山型には見えません。



額井岳（大和富士）

武田恵世

歯科医師、歯学博士 伊賀市上野桑町で開業。伊賀市環境保全市民会議 レッドデータブック作成委員会 委員長。環境省希少野生動物植物種保存推進員。日本鳥学会、日本生態学会 会員他。著書に「風力発電の不都合な真実」（アットワークス刊）などがある。